

< 評価表 > ※評価機関・ホーム共用

ホーム名	浜松〈ゆうゆうの里〉	開設日	S51.6.10
評価機関	(特非) あい・ライフサポートシステムズ	評価受審日	H29.2.8

評価シートNo. 1

No.	項目名	自己評価	機関評価	No.	項目名	自己評価	機関評価	
1 運営主体の姿勢	1.1.1 経営姿勢の周知	A	A	設備	3.1.4 車いすでの移動	A	A	
	1.1.2 経営における社会的責任	A	A		3.1.5※ 相部屋でのプライバシー配慮	非	非	
	1.1.3 コンプライアンスへの取り組み	A	A		3.1.6 共用施設の設置	A	A	
	1.1.4 法人の事業計画策定	A	A		3.1.7 来訪者との談話スペース	A	A	
	1.2.1 財務状況の改善・向上	A	A		4 生活サービス	4.1.1 生活相談業務	A	A
	1.2.2 資金管理	A	A			4.1.2 小口現金の管理	A	A
	1.2.3 資金管理の内部統制	A	A			4.1.3 生活利便サービスの実施	A	A
	1.3.1 事業関連情報の共有	A	A	4.1.4 外部からの生活サービスの導入		A	A	
	1.3.2 個人情報保護義務	A	A	4.2.1 コミュニケーション		A	A	
	1.3.3 個人情報の管理	A	A	4.2.2 アクティビティの計画的な実施		A	A	
	1.4.1 職員の育成	A	A	5 食事サービス	5.1.1 バリエーション	A	A	
	1.4.2 職員の評価・報酬	A	A		5.1.2 入居者のニーズの反映	A	A	
	1.4.3 人事考課	A	A		5.2.1 摂食支援	A	A	
	1.4.4 職員のモチベーション維持	A	A		5.2.2 疾病に対応した食事の提供	A	A	
	1.4.5 職員の就業状況への配慮	A	A		5.2.3 適温での提供	A	A	
	1.4.6 中間管理職の役割	A	A		5.2.4 個別の食事管理	A	A	
	1.4.7 資格取得への支援	A	A	5.2.5※ 口腔ケアへの取り組み	A	A		
	1.4.8 入居募集に係る職員への指導	A	A	6 ケアマネジメント	6.1.1※ 介護の提供方針	A	A	
	1.5.1 入居者の権利擁護	A	A		6.1.2 接遇上の配慮	A	A	
	1.5.2 権利擁護に係る外部との連携	A	A		6.1.3 介護保険の制度説明	A	A	
1.5.3 虐待防止への組織的対応	A	A	6.2.1※ ケアマネジメントの実施		A	A		
2 ホームの運営方針	2.1.1 運営理念の周知	A	A		6.2.2※ 個別アセスメントの実施	A	A	
	2.1.2 ホームの事業計画の策定・評価	A	A		6.2.3※ ケアプランの作成	A	A	
	2.2.1 見学受け入れの姿勢	A	A		6.2.4※ 暫定ケアプランの作成	A	A	
	2.2.2 体験入居への取り組み	A	A		6.2.5※ ケアプランの見直し	A	A	
	2.2.3※ 入居条件の緩和	A	A		6.2.6※ ケース会議等の開催	A	A	
	2.2.4 募集関係書類内容の整合性	A	A		6.2.7※ ケース会議等の個人情報利用	A	A	
	2.2.5※ 契約関係書類の開示時期	A	A	6.2.8 家族等との連携	A	A		
	2.2.6 特定施設利用契約の説明時期	A	A	6.2.9 身体拘束廃止への取り組み	A	A		
	2.2.7 利用料改定方法	A	A	6.3.1※ 職員の技術向上	A	A		
	2.2.8 契約解除に係る入居者保護	A	A	6.3.2 職員の認知症介護技術向上	A	A		
	2.2.9※ 保全措置	A	A	6.3.3 サービス評価の実施	A	A		
	2.2.10※ 短期解約特例	A	A	7 ケアサービス	7.1.1 健康管理	A	A	
	2.2.11 原状回復取扱規程	A	A		7.1.2 緊急通報装置への対応	A	A	
	2.3.1※ 要介護者等への職員配置	A	A		7.2.1 閉じこもりの予防	A	A	
	2.3.2※ 夜間の職員配置	A	A		7.3.1※ 個別ケア(入浴)の実施	A	A	
	2.3.3 サービスの質向上への取り組み	A	A		7.3.2※ 入浴介助時のプライバシー配慮	A	A	
	2.3.4 ニーズの把握	A	A		7.3.3 入浴環境の整備	A	A	
	2.3.5※ 運営懇談会の開催	A	A		7.3.4※ 入浴介助中の事故防止対策	A	A	
	2.3.6 ホーム運営状況の報告方法	A	A		7.4.1※ 個別ケア(排泄)の実施	A	A	
	2.3.7※ 介護保険会計との区分	A	A		7.4.2※ 排泄介助時のプライバシー配慮	A	A	
2.3.8※ ホーム以外の事業会計との区分	A	A	7.4.3※ おむつ交換の実施		A	A		
2.3.9 社内の苦情処理体制	A	A	7.4.4※ 臭気への配慮		A	A		
2.3.10 社外の苦情処理体制	A	A	7.4.5 排泄介護用品の選定		A	A		
2.3.11 損害賠償	A	A	7.5.1※ 褥創予防		A	A		
2.4.1 金品授受の取扱い	A	A	7.5.2※ 寝・食分離への取り組み	A	A			
2.4.2 業務マニュアルの策定・見直し	A	A	7.5.3 福祉用具の選定	A	A			
2.4.3 事故防止への取り組み	A	A	7.5.4※ 館外での介助	A	A			
2.4.4 感染症予防の取り組み	A	A	7.5.5※ 機能訓練の実施	A	A			
2.4.5 災害対策マニュアルの整備	A	A	7.5.6 居住環境の整備	A	A			
2.4.6 防災訓練の実施	A	A	7.5.7 他の入居者との関わりへの支援	A	A			
3 建物	3.1.1 バリアフリー	B	B	7.6.1 医療受診環境の確保	A	A		
	3.1.2 緊急通報装置	A	A	7.6.2 家族との医療面での連携	A	A		
	3.1.3 安否確認の実施	A	A	7.6.3 服薬管理の実施	A	A		

注意: 上記のスケールNo. に【※】印が付されている項目は、ホームの事業内容によって【非該当】との選択肢がありうるものである。(詳細は、評価プログラムを参照)

# <評価結果所見書>

※評価機関記入

評価シートNo. 3

受審ホーム名	浜松〈ゆうゆうの里〉
評価機関名	(特非) あい・ライフサポートシステムズ

## 優れた取り組みと思われる点

スケールNo.	
1-4-1	職員の育成計画表が、個人ごとに作成されており、何年目までにこういうスキルを身につけると次の段階に進め、受けるべき研修、取るべき資格が明確にかつ詳細に示されています。入社から20年目までの長期にわたる目標設定がされており、個人が自身の課題をクリアしながら、将来の展望が浮かんでくるような意欲向上に繋がる取り組みを行っています。
2-3-3	サービス向上委員会が設置され、多職種の各課からリーダーが20名近く参加し、遠州弁の「やらまいか!里ケア会議」という馴染みの名称で呼び、「やってやろう」という意気込みで各課題に取り組んでいます。改善や検討が必要と思われる事や箇所を日頃の活動から把握し、随時提案しています。事前に看板の取り付けや図書室視察などの問題点をあげ、現地に集合しその場で具体的な改善案を検討したりしています。また、入居者から出された提案や苦情のすべてを入居者に報告し、厳しいご意見にも改善策を検討し対応していくことで、さらに入居者が意見を出しやすい環境を作っています。このような取り組みを行うことでさらなるサービスの質の向上につながっています。
2-4-5 2-4-6	消防署の協力のもと行う防災訓練の他、毎月夜間想定を含めた訓練や初期消火の訓練も行っています。防災マニュアルは、地震・火災・水害等に分かれており、特に地震に関しては発生時の対策から避難誘導に至るまで詳細にマニュアル化されています。東海地震に備え職員はもちろんのこと入居者も防災意識が非常に高く、訓練には入居者も150名ほど参加しています。防災倉庫に、300人3日間分の、食料・水・毛布・簡易トイレ・発電機・食器類が備蓄されており、ライフラインが機能しない際に入居者を守っていかうという姿勢が強くみられます。備蓄品の管理は業者が賞味期限などを考慮し補充しており、訓練の際には備蓄食料を試食するなど、関心を高めてもらえる工夫をしています。また、近くに川が流れており氾濫の可能性も考慮し、実際に職員が川まで行き水量が氾濫危険水位を超えていないか目視することで、避難準備が遅れないように努めています。また、地域の福祉施設や病院から成る「三方原サミット」に参加し、防災をテーマとした話し合いの機会を設けるなど、今後地域ぐるみで災害対策を講じていかれることが期待されます。
7-2-1	退院時在宅酸素が必要になり、一人で出歩くことが難しく居室で過ごすことが多くなったため、閉じこもりがちになってしまった方へ、閉じこもりの予防として入院前まで習慣で楽しみにしていた農園作業や土いじり、草花の手入れを、ケアプランに組み込んで、短期、長期目標をたて、今までの生活や楽しみが継続できるよう支援しています。酸素ポンペを積んで農園まで車イスで移動することを提案し、実際に土いじりや草花の手入れをされ、農園へ行くことを楽しみにされるようになるなど、その方の身体的要因精神的な要因に合わせたプランを入居者と一緒に考え実施しています。
7-3-1	「週2回 個別のケースでそれ以上実施することあり」を原則に、週3回実施するケースが最も多く、体調により清拭にしたり時間や日にちを変更するなどして、個々の希望で対応しています。毎日夕食後に入浴を希望される方へは、介護居室のデイルームにある個浴で職員の見守りの中入浴を行っていただくなど、入居者の希望に応えられるよう最大限の努力をして、入浴を楽しんでもらっています。
7-5-7	レクリエーションやサークル活動は、認知症のある方ない方に係わらず、入居者同士の交流が深められるような催しになっています。定例で行われている茶話会は今年度は「星座茶話会」と称し、同じ星座の方が集まり、お茶を飲みながら、自己紹介をしたり、運営に係わること、イベント、サークル、食事のことなど、思い思いのことを話せる場になり、喜ばれています。年ごとに「干支」「出身地」など変化をつけた茶話会を催すことで、入居者が多いながら色々な方と関われる機会を作っています。年間の行事計画も入居者の希望により、内容を入れ替えるなどして、だれでもが自由に参加し生き生きと過ごせるような働きかけを行っています。

## 改善を要すると思われる点

スケールNo.	

## その他の所見

--